

# はたちの夢

熊谷 柁志さん



今日は、私たちの成人式の為に、このような式典を開いていただき、誠にありがとうございます。また多くのお祝いや激励の言葉を頂きました。町長様をはじめ、ご来賓の方々、そして、ご出席して下さいました皆さまに新成人を代表して、心より感謝申し上げます。

2011年3月11日。その日を境にして私たちは散り散りとなってしまいました。私もあの日のことがつい昨日のように感じられます。そして、同年の10月頃、私は湯本二中に再開した広野中学校で再び勉強することができるよう

宙という『自分の知らない世界』に行ってみたいという思いがあり、今でもありません。私はその思いを捨てきれず、宇宙探査機はやぶさのプロジェクトに関わりのある会津大学に入学することを決めました。私は今、大学で、月や惑星で取得したデータを用いたシステムの研究をしており、将来的には、月などの宇宙に関わる仕事に就きたいと考えております。一人暮らしは少し寂しいこともありすが、まだまだ学ぶことが沢山あり、寂しいと思う余裕がない程に充実した日々を送っています。

今、私がこうした日々を送っているのは、両親と学校の先生方のおかげであり感謝しています。大学での生活は、目が回りそうになるほど多くのことを学んで、多くの人たちと話をしたりして、日々少しずつながらも自分自身成長していくことができています。また、今の自分があるのは、今ここにいる仲間たちとの思い出があったからこそだと思います。

最後に、私たちが本日ここで成人を迎えることのできたのは、私たちを支えてくださった家族、導いてくださった先生方、この地域を支えてくださった方々そして、共に

# はたちの夢

松本 萌花さん



今日は、私たち新成人のためにこのような盛大な式典を催してください、誠にありがとうございます。また、お祝いと激励の言葉を頂きました。町長様をはじめ、来賓の方々、さらに御臨席を賜りました多くの皆さまに感謝申し上げます。

東日本大震災から7年が経とうとしています。私たちは当時中学一年生でした。突然の友達との別れはとても辛いことでした。私は広野町での中学校再開を機に広野中学校へ戻ってきました。震災前70人以上いた同級生は、10人になっ

史上一番少ない卒業生だろうと担任の先生から言われたことがつい昨日のことのように思えます。しかし、本日も皆さんの友達と成人式を迎えることができたと本当に嬉しく思います。

私は現在、山形県の大学に通いコミュニケーションデザインというあまり聞き慣れないデザイン領域の課題を発見し、解決するためにどのような方法で解決すればいいのかまた、解決するために必要なコミュニケーション能力を高めるような勉強をしています。毎週大学のある山形県からやはり震災で大きな被

歩いた仲間たちのおかげです。成人したこれからも精進して参りますので、どうか見守ってくださいますようお願いいたします。

# 謝辞

阿部 寧彩さん

今日は、私たちのためにこのような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。ありがとうございます。

また、お祝いや激励の言葉をいただきました。町長をはじめ、ご来賓の方々、ご臨席を賜りました皆さまに新成人49名を代表し心より感謝申し上げます。

幼い頃から広野町で共に育ってきた私たちは、中学一年生の時に東日本大震災によってばらばらとなり、私が避難先から広野町に戻って広野中学校を卒業した時には、卒業生はたったの10名でした。あれから約5年が経ち本日たくさんの懐かしい仲間と共にここ広

以上をもちまして、成人代表のあいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

さて、東日本大震災から間もなく7年が経とうとしています。あの日以来「当たり前前の日常」を送れることがどれだけ幸せなことなのかに気がつくことができました。これから私たちが歩んでいく道のは決して平坦なものではないと思います。それでも、この気持ちを忘れずに今生きていることに感謝し、一步一步前へ進んで参ります。小さな幸せに感謝し、人を思いやる優しい心を持ち続けられる大人でありたいと思っております。

20歳を迎え、既に社会人として活躍している者、自分の目標に向けて学業に励んでいる者など、皆が別々の道を歩み始めています。置かれている環境は違うけれど、一人一人が成人としての責任の大きさを肝に銘じて、社会に貢献できる大人となれるよう精進していく覚悟しております。

最後に、改めてこのような素晴らしい式典の開催にあたりご尽力くださいました関係者の皆さま、お祝いや激励の言葉をいただきました広野町長はじめご来賓の方々、ご臨席を賜りました皆さまに感謝を申し上げます。成人代表の謝辞とさせていただきます。

皆さま、本日は誠にありがとうございました。



害の出た宮城県石巻市で実践的な勉強もしています。多分、震災を経験してなければ学びたいとは考えなかった学問です。大学卒業後は、地元広野町に戻り大学で学んだことを少しでも役立てて社会へ出られれば良いと考えています。今こうして、大学で学ぶことができているのも両親のお陰であり、感謝しています。大学での生活は日々自分自身の成長を感じることができています。今の自分が有るのも指導してくださった小学校・中学校の先生方、仲間たちのお陰です。

20歳の大きな節目を迎え、甘えの考えを切り捨て、大人としての自覚と責任を持ち行動しなければならぬと改めて感じております。これからの人生においても、まだまだ沢山選択に迷うこともあると思います。しかし、壁に立ちあはだかる時も必ず光りは見えてきます。自分自身で選択した道に勇気と誇りを持って歩んでいきたいです。

最後になりますが、家族をはじめ、諸先生方、あたたかく私達を見守り支えて下さった地域の方々に感謝の意を表して、成人代表のあいさつといたします。本日は誠にありがとうございます。